

I 調査の目的、方法、結果の概要

1 調査の目的

水質検査がその瞬間の水の状態を評価する方法であるのに対し、川に棲む水生生物（底生動物）の種類や数を調べると、より長期的な水環境を知ることができます。また、底生動物の調査には特殊な器材も不要なため、比較的簡単に実施できるという利点があります。

本調査は、環境保全団体や学校等（以下、「環境保全団体等」とする。）が「水生生物調査」や「水質の簡易調査（パックテスト）」を実施することにより、身近な川の水環境についての関心を高め、地域における水環境保全活動を支援することを目的に実施しました。

2 調査方法

熊本県が作成した「川の水環境・調査のてびき」（平成7年3月発行、平成23年10月改訂、熊本県環境生活部環境局環境保全課）に準じ、水環境の快適さを表I-1に示す5段階とし、川の地形と流域の土地利用状況（評価基礎点）、水質、川底、底生動物の4項目の評価を実施しました。

なお、調査は環境保全団体等が自ら企画し、県環境保全課及び管轄保健所等と協力して実施しました。

3 調査結果の概要

環境保全団体等24団体がのべ69地点で調査を実施し、のべ1,021人が参加しました。調査実施団体等の内訳は、環境保全団体関係が8団体、学校関係が15団体でした。

また、調査場所69地点の内訳からは、緑川水系（7地点）や白川水系（30地点）、菊池川水系（6地点）、球磨川水系（12地点）などで特に熱心な活動が実施されていることがうかがえました。

・ 指標生物及び簡易水質調査結果（表I-2）

生物から見た水環境評価では、調査地点35地点中、評価値Ⅰ「快適な水環境」が16地点、評価値Ⅱ「親しめる水環境」が7地点、評価値Ⅲ「不快を感じない水環境」9地点、評価値Ⅳ「多少不快な水環境」が3地点、評価値Ⅴ「不快な水環境」は0地点と大半の地点において比較的良好な結果が得られました。

一方、水質から見た水環境評価では、調査地点69地点中、評価値Ⅰ「快適な水環境」が14地点、評価値Ⅱ「親しめる水環境」が28地点、評価値Ⅲ「不快を感じない水環境」が24地点、評価値Ⅳ「多少不快な水環境」が3地点、評価値Ⅴ「不快な水環境」は0地点でした。

※ 調査を実施した69地点中、生物または水質の水環境評価に必要な項目が全てそろっている地点のみの集計としています。また、環境保全団体等の個々の調査結果等を7ページ以降に示しました。

表 I - 1 川の水環境の快適さの表現（評価値）

階級	川の水環境の快適さ	例えば（感じることなど）
I	快適な水環境	清冽な水の冷たさを感じる さわやかに自然を楽しめる ヤマメ、タカハヤが生息している
II	親しめる水環境	水泳や水遊びができると感じる 水や水辺がこちよく感じる アユ、ウグイ、カワムツが生息している
III	不快を感じない水環境	素足で水の中に入れると感じる 川面や水辺に親しみを感じる ヨシノボリ、オイカワ、コイが生息している
IV	多少不快な水環境	素足では水の中に入りたくない 水辺に近づいて不快感がない程度 コイ、フナ、ナマズが生息している
V	不快な水環境	きたなくて、川では遊べないと感じる 水辺に近よりたいと感じない

表 I - 2 平成 29 年度における県内の団体の参加状況及び調査結果

調査番号	団体番号	調査項目	団体名	河川	水系	市町村名	調査地点名	参加数(のべ)	調査日	水質評価	生物評価
1	1	水質	次世代のためにがんばる会	球磨川	球磨川	八代市	坂本町西部段駅近く	9	6/17	II	-
2		水質		球磨川	球磨川	八代市	遷拝堰	9	6/17	II	-
3		水質		球磨川	球磨川	八代市	蛇籠港	9	6/17	III	-
4	2	水質	九州テクニカルメンテナンス	坪井川	白川	熊本市	栄橋付近	16	9/2	I	-
5		水質		梶尾川	白川	熊本市	北部坪井橋付近	16	9/2	I	-
6		水質		坪井川	白川	熊本市	鶴羽田橋付近	16	9/2	II	-
7		水質		井芹川	白川	熊本市	平成大橋付近	10	9/24	I	-
8		水質		坪井川	白川	熊本市	高橋稻荷大橋付近	10	9/24	II	-
9		水質		坪井川	白川	熊本市	第一池上橋付近	10	9/24	I	-
10		水質		亀川		天草市	橋渡橋付近	17	7/23	II	-
11		水質		亀川		天草市	明亀橋付近	17	7/23	II	-
12		水質		木山川	緑川	益城町	荒瀬橋付近	8	8/19	III	-
13		水質		木山川	緑川	益城町	三竹橋付近	8	8/19	II	-
14		水質		木山川	緑川	益城町	新川橋付近	8	8/19	III	-
15	3	水質	大江田子ども会	菊池川	菊池川	和水町	コミュニティセンター付近	25	8/6	III	-
16		水質		菊池川	菊池川	和水町	コーポ坂本付近	25	8/6	III	-
17		水質		菊池川	菊池川	和水町	菊池川樋門付近	25	8/6	III	-
18	4	水質	北甘木親子会	天水川	緑川	嘉島町	北甘木(天水川3号橋)	33	7/30	III	-
19		水質		矢形川	緑川	嘉島町	石塚橋下流	33	7/30	III	-
20		水質		千原池		嘉島町	双子塚地区	33	7/30	III	-
21	5	生物&水質	平小城小学校(NPO法人ひらおぎ)	内野川	菊池川	山鹿市	内野川	5	7/19	III	III
22	6	生物&水質	豊野町みどりの少年団	浜戸川 小熊野川	緑川	宇城市	宇城市豊野町	15	9/9	III	IV
23	7	生物&水質	佐伊津地区振興会環境部会	隅田川		天草市	玉の橋	22	8/1	II	III
24	8	生物&水質	つわの花	中津川		天草市	有明町大島子	15	8/23	II	IV
25	9	生物&水質	有明子どもデイサービス	東迫川		天草市	赤崎小学校	21	8/10	II	I
26	10	水質	菊池管内環境活動協議会 大津町立大津北小学校	湧水		大津町	大津町平川地区	9	10/3	I	-
27		水質		通潤用水	緑川	山都町	円形分水工	9	10/3	I	-
28		水質		平川	菊池川	大津町	大津北小学校近くのリフレッシュ広場付近	9	10/3	II	-
29		水質		矢護川	菊池川	大津町	矢護川公園	9	10/3	I	-
30	11	生物&水質	菊池管内環境活動協議会 菊池市立泗水東小学校	日向川	合志川	菊池市	菊池市泗水町永	47	9/11	I	III

表 I - 2 平成 29 年度における県内の団体の参加状況及び調査結果（つづき）

調査番号	団体番号	調査項目	団体名	河川	水系	市町村名	調査地点名	参加数(のべ)	調査日	水質評価	生物評価
31	12	生物 & 水質	宇城市立小川小学校	砂川	砂川	宇城市	砂川橋付近	17	9/21	II	I
32	13	生物 & 水質	宇土市立網田小学校	網田川	網田川	宇土市	上網田851付近	17	7/19	II	I
33	14	生物 & 水質	人吉市立人吉東小学校	球磨川	球磨川	人吉市	中川原公園	68	5/26	II	I
34	15	生物 & 水質	人吉市立東間小学校	胸川	球磨川	人吉市	胸川むつみ橋上流	53	6/1	I	I
35	16	水質	人吉市立中原小学校	万江川	球磨川	人吉市	新万江川橋下流	48	7/18	I	-
36	17	生物 & 水質	人吉市立大畑小学校	鳩胸川	球磨川	人吉市	上麓橋下	34	9/11	I	I
37	18	生物 & 水質	人吉市立西瀬小学校	永野川	球磨川	人吉市	清水川橋下	37	9/14	I	I
38	19	生物 & 水質	人吉市立人吉西小学校	山田川	球磨川	人吉市	鶴亀橋下	68	9/25	II	I
39	20	生物 & 水質	苓北町立坂瀬川小学校	坂瀬川		苓北町	坂瀬川小付近	12	10/6	III	III
40	21	生物 & 水質	苓北町立志岐小学校	志岐川		苓北町	志岐川下流	28	10/5	II	I
41	22	生物 & 水質	苓北町立都呂々小学校	都呂々川		苓北町	都呂々川下流	10	10/5	I	I
42	23	生物 & 水質	苓北町立富岡小学校	中山川		苓北町	中山川下流	12	10/6	II	I
43	24	生物 & 水質	熊本県立大学 水環境科学研究室	球磨川	球磨川	人吉市	川村駅下	5	8/23	I	I
44		生物 & 水質		球磨川	球磨川	人吉市	中川原公園	5	8/23	III	I
45		生物 & 水質		球磨川	球磨川	人吉市	天狗橋	5	8/23	III	I
46	24	生物 & 水質	熊本県立大学 水環境科学研究室	黒川	白川	南阿蘇村	阿蘇大橋上	13	7/20 10/11 12/14	IV II II	I II II
47		生物 & 水質		白川	白川	南阿蘇村	黒川第2発電所隣	13	7/20 10/11 12/14	II II II	I II II
48		生物 & 水質		白川	白川	大津町	七障子橋	13	7/20 10/11 12/14	II III II	III II III
49		生物 & 水質		白川	白川	菊陽町	みらい大橋下	13	7/20 10/11 12/14	III III II	III II III
50		生物 & 水質		白川	白川	熊本市	小磯橋	13	7/21 10/11 12/14	II III III	II - -
51		生物 & 水質		白川	白川	熊本市	代継橋	13	7/21 10/11 12/14	III II II	IV III -
52		水質		白川	白川	熊本市	小島橋	13	7/21 10/11 12/14	IV III II	-
53		水質		白川	白川	熊本市	白川河口	13	7/21 10/11 12/14	IV III III	-
								環境団体等	8		
								学校関係	15		
								のべ調査地点	69		
								のべ調査人数	1021		

水系	合計
緑川	7
白川	14
菊池川	6
球磨川	12

調査結果	水質	生物
I	14	16
II	28	7
III	24	9
IV	3	3
V	0	0
合計	69	35

※表中の記載内容は、各調査団体が提出した報告書からわかる範囲で記載しています。

- 階級Ⅰ：快適な水環境
- 階級Ⅱ：親しめる水環境
- 階級Ⅲ：不快を感じない水環境
- 階級Ⅳ：多少不快な水環境
- 階級Ⅴ：不快な水環境

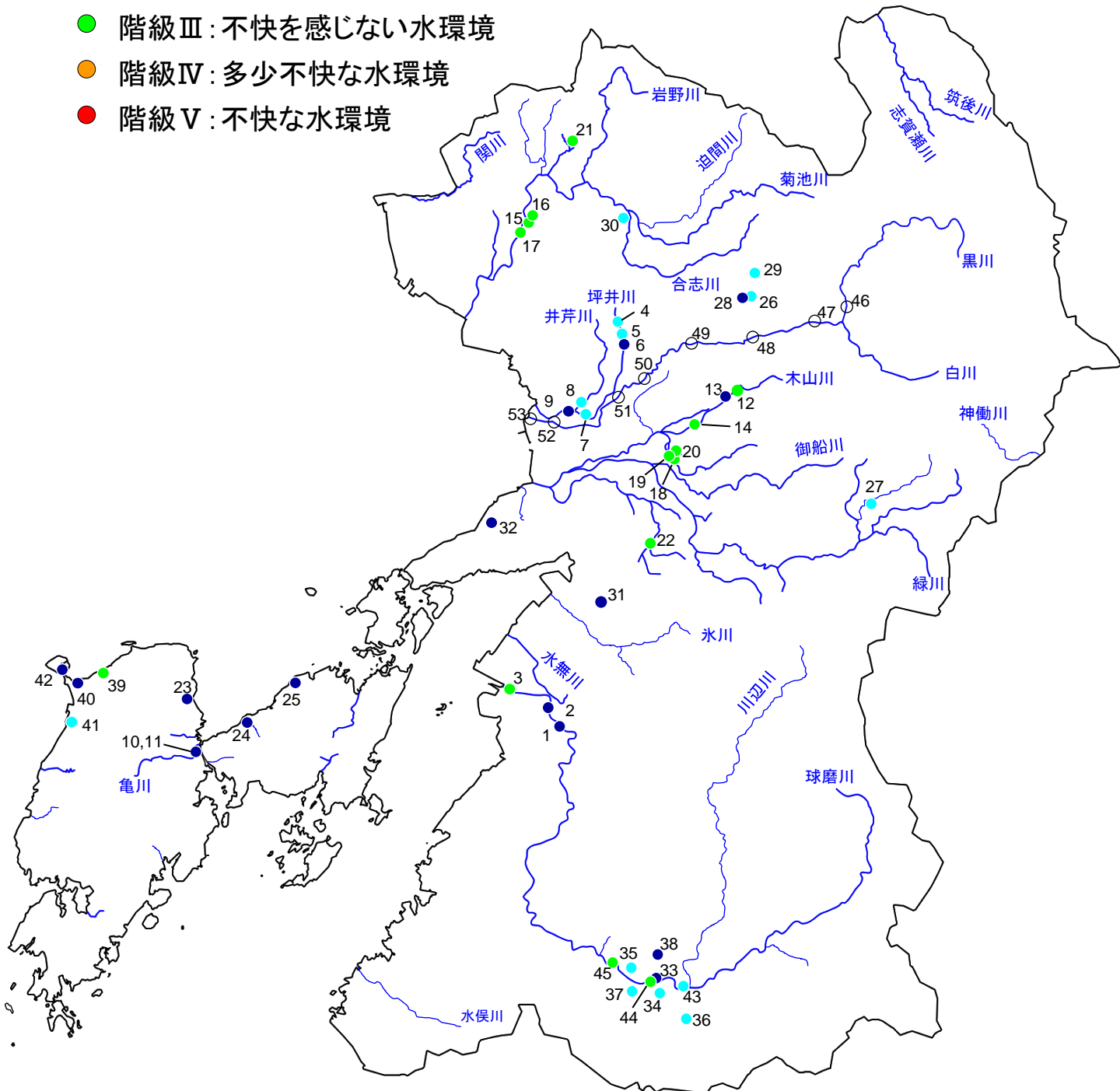


図 I - 1 水質評価結果マップ

- 階級Ⅰ：快適な水環境
- 階級Ⅱ：親しめる水環境
- 階級Ⅲ：不快を感じない水環境
- 階級Ⅳ：多少不快な水環境
- 階級Ⅴ：不快な水環境

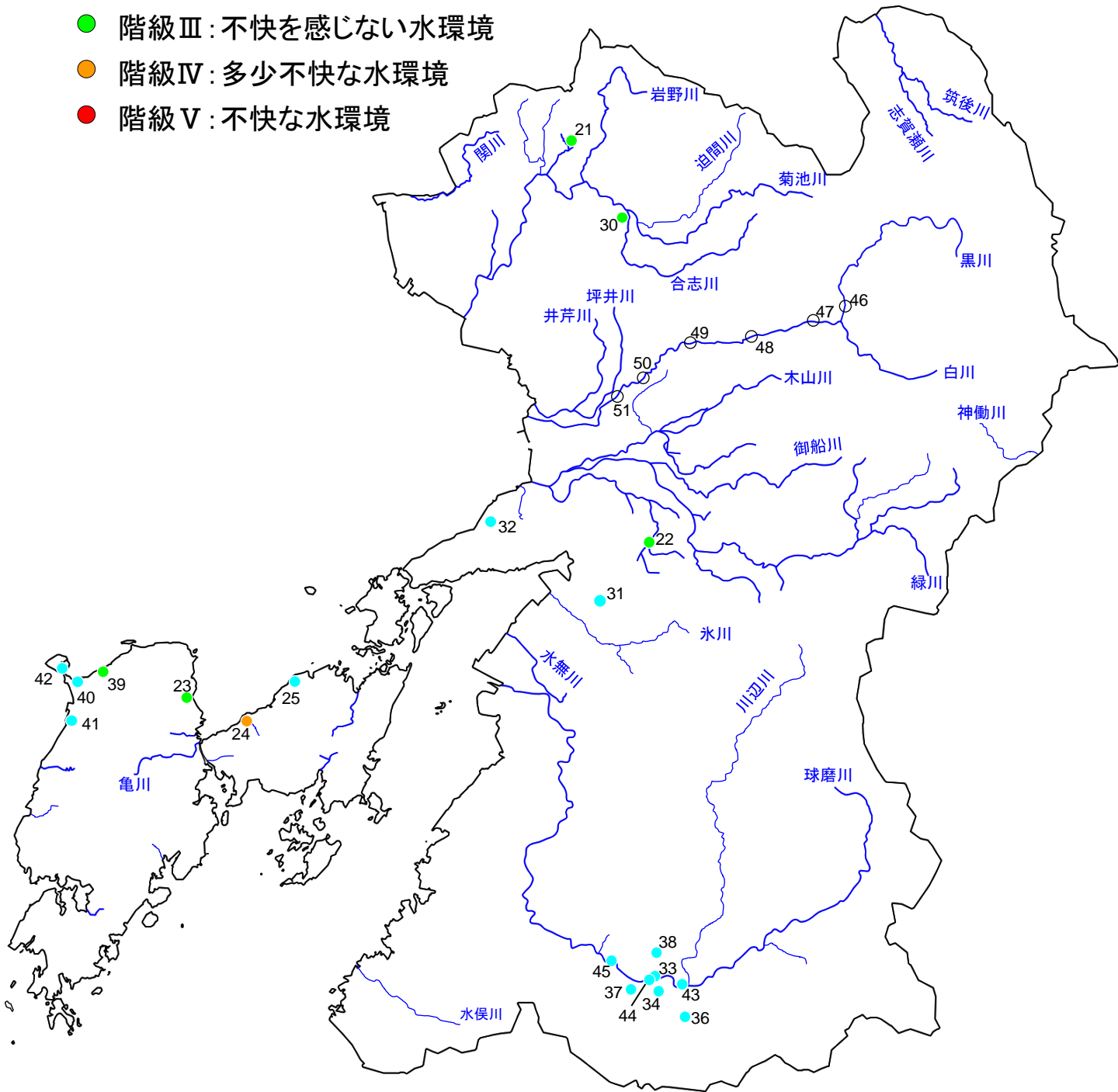


図 I - 2 指標生物評価結果マップ

Ⅱ 各団体の調査結果

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	球磨川 (水系)		
調査地点名	上流:坂本町西部段駅近く		
調査団体名	次世代のためにがんばろ会		
代表者名	参加人数	9人	
連絡先住所			
調査年月日	平成29年6月17日	調査時間	10:30
調査日天候	曇り	気温	28℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	②. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	①. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 $(A+B) \div 2 = 3$ 点 階級			

2. 水質を調べる

水温	21℃		
a. 水の色	①. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	①. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	①. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	①. 5.0mg/L未満		3. 5.0mg/L以上
②水質評価点 $(a+b+c+d+e) \div 5 = 4$ 点 階級			

PHは調べていない

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ ○平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	③. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	②. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	①. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	②. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	①. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 $(f+g+h+i+j) \div 5 =$ 点 階級			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくのと後で便利です。

満潮のころだったのか、川の水が逆流していた
近くに葦は生えていた

ハエ?がいた。(メダカだという人もいたが)

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	球磨川 (水系)		
調査地点名	中流: 遥拝堰		
調査団体名	次世代のためにがんばる会		
代表者名	参加人数	9人	
連絡先住所			
調査年月日	平成29年6月17日	調査時間	11:00
調査日天候	曇り	気温	28℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	②. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	①. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 点 階級			

2. 水質を調べる

水温	21℃		
a. 水の色	①. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	①. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	①. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	○1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 点 階級			

PHは調べなかった

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	○ ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	③. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	②. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	②. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	①. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 点 階級			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

カワニナ・アメンボ

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	球磨川 (水系)		
調査地点名	下流: 蛇籠港		
調査団体名	次世代のためにがんばる会		
代表者名	参加人数	9人	
連絡先住所			
調査年月日	平成29年6月17日	調査時間	11:38
調査日天候	曇り	気温	28℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	③. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	③. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 点 階級			

2. 水質を調べる

水温	21℃		
a. 水の色	1. 無色	②. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	①. 無臭		3. 臭いあり
c. 透視度	①. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	○1. 5.0mg/L未満		3. 5.0mg/L以上
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 点 階級			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ ○平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	③. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	③. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	②. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	③. 白灰黒色
j. 付着藻類量	①. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 点 階級			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくのと後で便利です。

川底が深くて生物が見えない

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	坪井川 (水系)		
調査地点名	栄橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	16人	
連絡先住所			
調査年月日	平成29年9月2日	調査時間	8:50
調査日天候	晴	気温	23.9 °C

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	① 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	① 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 1点 階級 I			

2. 水質を調べる

水温	20.2 °C		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	① 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	2. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	① 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	③ ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	③ しずいし 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	③ みかん
h. 堆積物の種類	① なし	2. すなどろ 砂泥	3. どろ ふはい 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① ちやりよく 茶緑色	2. みどりいろ 緑色	3. しろはいくろしよく 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.8点 階級 III			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくその後で便利です。

水がとても澄んでいました。

川に人工のブロックが設けられていました。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	梶尾川 (水系)		
調査地点名	北部坪井橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	16人	
連絡先住所			
調査年月日	平成29年9月2日	調査時間	8:40
調査日天候	晴	気温	23.9 °C

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	② 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5 点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	24.0 °C		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	① 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	2. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	① 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1 点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	③ ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	③ 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	② メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	② すなどろ 砂泥	3. どろ ふはい 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.8 点 階級 III			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

川の生物はあまり生息していませんでした。

川の水が少し濁っていました。

水の流れが少なかったように感じました。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	坪井川 (水系)		
調査地点名	鶴羽田橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	16人	
連絡先住所			
調査年月日	平成29年9月2日	調査時間	8:35
調査日天候	晴	気温	23.9 °C

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.6	1.6
			1.8	1.8
			2.0	2.0
IV	多少不快な水環境	2.5	2.2	2.2
			2.4	2.4
V	不快な水環境	3.0	2.6	2.6
			2.8	2.8

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	② 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5 点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	21.9 °C		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭		3. 臭いあり
c. 透視度	① 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	2. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	③ 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.4 点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	③ ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	③ しずいし 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	② メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	② すなどろ 砂泥	3. どろ ふはい 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① ちやりよしく 茶緑色	2. みどりいろ 緑色	3. しろはいくろしよく 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない 2. 多い 3. マット状		
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.8 点 階級 III			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくのと後で便利です。

川の水はきれいでした。

アメンボとトンボが生息していました。

魚の姿は見られませんでした。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	坪井川 (水系)		
調査地点名	平成大橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	10人	
連絡先住所			
調査年月日	平成29年9月24日	調査時間	9:25
調査日天候	曇	気温	21.5℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 ③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 2. 畑・水田 ③ 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 3 点 階級 V	

2. 水質を調べる

水温	22.7 °C		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	① 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	2. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	① 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 ③ 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 ③ 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン ③ みかん
h. 堆積物の種類	1. なし ② 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.0 点 階級 III	

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

ボラが生息しており良好な水質と思われます。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	坪井川 (水系)		
調査地点名	高橋稲荷大橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	10人	
連絡先住所			
調査年月日	平成29年9月24日	調査時間	9:25
調査日天候	曇	気温	21.5℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 ③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 2. 畑・水田 ③ 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 3 点 階級 V	

2. 水質を調べる

水温	21.8 °C		
a. 水の色	1. 無色 ② 緑茶色 3. 白・灰・黒色		
b. 水の臭い	① 無臭 3. 臭いあり		
c. 透視度	① 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満		
d. pH	① 6.5~8.5 2. 6.4以下 3. 8.6以上		
e. COD	① 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上		
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.2 点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 ③ 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 ③ 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン ③ みかん
h. 堆積物の種類	1. なし ② 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.0 点 階級 III	

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

ゴミが浮いており川の水は濁って見えたが、魚が生息しておりました。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	井芹川 (水系)		
調査地点名	第1池上橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	10人	
連絡先住所			
調査年月日	平成29年9月24日	調査時間	9:50
調査日天候	曇	気温	21.5℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 ③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 2. 畑・水田 ③ 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 3 点 階級 V	

2. 水質を調べる

水温	21.0 °C		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	① 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	2. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	① 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.0 点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 ③ 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 ③ 沈み石
g. 石の大きさ	① すいか 2. メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし ② 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.6 点 階級 II	

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

水が澄んでおり川底が見えていました。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	亀川 (水系)		
調査地点名	樋渡橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名	参加人数	17人	
連絡先住所			
調査年月日	平成29年7月23日	調査時間	15:20
調査日天候	晴/曇	気温	32.0℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	② 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	② 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.0 点 階級 III			

2. 水質を調べる

水温	30.0 °C		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭		3. 臭いあり
c. 透視度	① 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	2. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	③ 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.4 点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ ③ 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 ③ 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか ② メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし ② 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.8 点 階級 III	

メモ:

昨年度よりもゴミが減っておりました。
ハゼ、蟹、鯉が生息しており良好な水質
と思われれます。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	亀川 (水系)		
調査地点名	明亀橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名		参加人数	17 人
連絡先住所			
調査年月日	平成29年7月23日	調査時間	14:50
調査日天候	晴れ/曇り	気温	32.0℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	③ 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 3 点 階級 V			

2. 水質を調べる

水温	30.0 ℃		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭		3. 臭いあり
c. 透視度	① 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	2. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	③ 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.4 点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	③ ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	③ 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	② メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	② すなごろ 砂泥	3. どろ ふはい 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.8 点 階級 III			

メモ:

ゴミも少なく川の色も無色であり
ハゼ、蟹、鯉が生息しており良好な水質
と思われます。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	木山川 (水系)		
調査地点名	荒瀬橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名		参加人数	8人
連絡先住所			
調査年月日	平成29年8月19日	調査時間	9:20
調査日天候	晴	気温	33.0℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 ② 山間流域 3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 ② 畑・水田 3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2点 階級 III	

2. 水質を調べる

水温	21.5℃
a. 水の色	1. 無色 2. 緑茶色 ③ 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	1. 80cm以上 ② 60cm以上 3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5 2. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満 ③ 5.0mg/L以上
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 2点 階級 III	

メモ:

昨年は熊本地震の影響で道路状況が悪く採水地点の変更を余儀なくされましたが、本年は一昨年と同じ採水地点へ戻しました。河川護岸工事の影響で、一昨年と比べると少し濁りがありました。

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 ③ 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 ③ 沈み石
g. 石の大きさ	① すいか 2. メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	① なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.4点 階級 II	

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	木山川 (水系)		
調査地点名	三竹橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名		参加人数	8人
連絡先住所			
調査年月日	平成29年8月19日	調査時間	9:40
調査日天候	晴	気温	31.0℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	① 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	② 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 1.5点 階級 II			

2. 水質を調べる

水温	24.0℃		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	① 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	2. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	③ 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.4点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	③ ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	③ 沈み石	
g. 石の大きさ	① すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	② すなどろ 砂泥	3. どろ ふはい 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.6点 階級 II			

メモ:

昨年は熊本地震の影響で道路状況が悪く採水地点の変更を余儀なくされましたが、本年は一昨年と同じ採水地点へ戻しました。河川護岸工事の影響で、一昨年と比べると少し濁りがありました。また、70cm程の鯉が1匹見られました。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	木山川 (水系)		
調査地点名	新川橋付近		
調査団体名	九州テクニカルメンテナンス株式会社		
代表者名		参加人数	8人
連絡先住所			
調査年月日	平成29年8月19日	調査時間	10:00
調査日天候	晴	気温	31.5℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	① 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	② 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 1.5点 階級 II			

2. 水質を調べる

水温	25.0℃
a. 水の色	1. 無色 2. 緑茶色 ③ 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	① 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5 2. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満 ③ 5.0mg/L以上
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.8点 階級 III	

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 ③ 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 ③ 沈み石
g. 石の大きさ	① すいか 2. メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし ② 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.6点 階級 II	

メモ:

昨年は熊本地震の影響で道路状況が悪く採水地点の変更を余儀なくされましたが、本年は一昨年と同じ採水地点へ戻しました。河川護岸工事の影響で、一昨年と比べると少し濁りがありました。また、ごみの散乱等はありませんでした。

かわ みずかんきょうちようさき ろくようし 川の水環境調査記録用紙 (その1)

No. 15

調査河川名	菊池川 (水系)
調査地点名	桶門付近
調査団体名	大江田子供会 大江田地域資源保全隊
代表者名	参加人数 25
連絡先住所	

調査年月日	調査時間	天候	気温
29年6月6日	8時30分	くもり	32℃

1 調査地点の様子を調べる

A 川の地形	1 渓流域	2 山間流域	3 平地流域
B 川の背景	1 森林	2 畑・水田	3 市街地
① 評価基礎点(A+B)/2 =	2.5 点		階級 IV

2 水質を調べる

水温	℃	29℃		
a 水の色		① 無色	2 緑茶色	3 白・灰・黒色
b 水の臭い		1 無臭	③ 臭いあり	
c 透視度	cm	1 80cm以上	2 60cm以上	3 60cm未満
d pH		1 6.5~8.5	3 6.4以下、8.6以上	
e COD		1 5.0mg/l未満	③ 5.0mg/l以上	
② 水質評価点(a+b+c+d+e)/5 =	1.8 点 III 階級			

3 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	草瀬	平瀬	
f 石の状態	1 浮石	3 沈み石	
g 石の大きさ	1 すいか	2 メロン	3 みかん
h 堆積物の種類	1 なし	2 砂泥	3 泥(腐敗)
i 付着藻類色	1 茶緑色	2 緑色	3 白灰黒色
j 付着藻類量	1 少ない	2 多い	3 マット状
③ 川底評価点(f+g+h+i+j)/5 =	点 階級		

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の 快適さ	①評価の 基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な 水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる 水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を 感じない 水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少 不快な 水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な 水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

メモ 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、水辺の草木の状況、魚がいたか、鳥がいたか、ごみがあったか、何でも気づいたことがあったら書き止めておくと後で便利です。

におりがくさむたか
水はきれいだった



年組
名前

かわ みずかんきょうちようさき ろくようし 川の水環境調査記録用紙 (その1)

No. 16

調査河川名	菊池川へ流れる排水路 (水系菊池川)
調査地点名	コミュニティーセンター前の排水路
調査団体名	大江日子共会 大江田地域資源保全隊
代表者名	参加人数 25名
連絡先住所	

調査年月日	調査時間	天候	気温
平成27年8月6日	8時30分	曇り	32℃

1 調査地点の様子を調べる

A 川の地形	1 渓流域	2 山間流域	③ 平地流域
B 川の背景	1 森林	② 畑・水田	3 市街地
① 評価基礎点(A+B)/2 = 2.5 点 階級 N			

2 水質を調べる

水温	℃	30℃		
a 水の色		① 無色	2 緑茶色	3 白・灰・黒色
b 水の臭い		1 無臭	③ 臭いあり	
c 透視度	cm	① 80cm以上	2 60cm以上	3 60cm未満
d pH		① 6.5~8.5、 3 6.4以下、8.6以上		
e COD		1 5.0mg/l未満	③ 5.0mg/l以上	
② 水質評価点(a+b+c+d+e)/5 = 1.8 点 III 階級				

3 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	草瀬	平瀬
f 石の状態	1 浮石	3 沈み石
g 石の大きさ	1 すいか	2 メロン 3 みかん
h 堆積物の種類	1 なし	2 砂泥 3 泥(腐敗)
i 付着藻類色	1 茶緑色	2 緑色 3 白灰黒色
j 付着藻類量	1 少ない	2 多い 3 マット状
③ 川底評価点(f+g+h+i+j)/5 = 点 III 階級		

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の 快適さ	①評価の 基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な 水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる 水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を 感じない 水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少 不快な 水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な 水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

メモ 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、水辺の草木の状況、魚がいたか、鳥がいたか、ごみがあったか、何でも気づいたことがあったら書き止めておくと後で便利です。

「おい、はくさかったか」「それいかに、は、ふかいさかんじはあった。」

 年組
名前

かわ みずかんきょうちようさき ろくようし 川の水環境調査記録用紙 (その1)

No. 17

調査河川名	新三河川流川排水路(水紫菊池川)
調査地点名	コーポ坂西側の排水路
調査団体名	大江日子共会 大江地域資源保全隊
代表者名	参加人数 25
連絡先住所	

調査年月日	調査時間	天候	気温
平成27年8月6日	8:30分	曇り	32℃

1 調査地点の様子を調べる

A 川の地形	1 渓流域	2 山間流域	③ 平地流域
B 川の背景	1 森林	② 畑・水田	3 市街地
① 評価基礎点(A+B)/2 = 25点 階級 IV			

2 水質を調べる

水温	28℃	28℃
a 水の色	1	1 無色 2 緑茶色 3 白・灰・黒色
b 水の臭い	3	1 無臭 ③ 臭いあり
c 透視度	60cm	1 80cm以上 2 60cm以上 3 60cm未満
d pH	!	① 6.5~8.5 3 6.4以下、8.6以上
e COD		1 5.0mg/l未満 ③ 5.0mg/l以上
② 水質評価点(a+b+c+d+e)/5 = 2点 III 階級		

3 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	草瀬	草瀬
f 石の状態	1 浮石	3 沈み石
g 石の大きさ	1 すいか	2 メロン 3 みかん
h 堆積物の種類	1 なし	2 砂泥 3 泥(腐敗)
i 付着藻類色	1 茶緑色	2 緑色 3 白灰黒色
j 付着藻類量	1 少ない	2 多い 3 マット状
③ 川底評価点(f+g+h+i+j)/5 = 点 階級		

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の 快適さ	① 評価の 基礎点	② 水質 ③ 川底 評価点	
			② 水質	③ 川底
I	快適な 水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる 水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を 感じない 水環境	2.0	1.8	1.8
IV	多少 不快な 水環境	2.5	2.0	2.0
			2.2	2.2
			2.4	2.4
V	不快な 水環境	3.0	2.6	2.6
			2.8	2.8
			3.0	3.0

メモ 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、水辺の草木の状況、魚がいたか、鳥がいたか、ごみがあったか、何でも気づいたことがあったら書き止めておくと後で便利です。

ごみなどがういていて
すべてがきたはく、かんじた



年組
名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	矢形川 (水素緑川)		
調査地点名	嘉島町北甘木(石塚橋下流右岸)		
調査団体名	北甘木活動組織(北甘木親子会)		
代表者名		参加人数	30人
連絡先住所			
調査年月日	H29年7月30日	調査時間	8時
調査日天候	晴	気温	29.0℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 ③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 ② 畑・水田 3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)/2 = 2.5 点 階級	

2. 水質を調べる

水温	27℃
a. 水の色	① 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	1. 80cm以上 2. 60cm以上 ③ 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満 ③ 5.0mg/L以上
②水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.8 点 階級	

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	1. 早瀬 2. 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = _____ 点 階級	

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	天水川 (水紫 緑川)		
調査地点名	嘉島町北甘木(天水川3号橋下流右岸)		
調査団体名	北甘木活動組織(北甘木親子会)		
代表者名		参加人数	33 人
連絡先住所			
調査年月日	429年7月30日	調査時間	8時
調査日天候	晴	気温	29 °C

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 ③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 ② 畑・水田 3. 市街地
① 評価基礎点 (A+B)/2 = 2.5 点 階級	

2. 水質を調べる

水温	29 °C
a. 水の色	① 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	1. 80cm以上 2. 60cm以上 ③ 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満 ③ 5.0mg/L以上
② 水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1.8 点 階級	

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 平瀬
f. 石の状態	1. 浮き石 3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし 2. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない 2. 多い 3. マット状
③ 川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 点 階級	

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

No. 20

調査河川名	干原ため池(水系)		
調査地点名	嘉島町北甘木(双子塚地区)		
調査団体名	北甘木活動組織(北甘木親子会)		
代表者名		参加人数	33人
連絡先住所			
調査年月日	H29年7月30日	調査時間	8時
調査日天候	晴	気温	29℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 2. 山間流域 ③ 平地流域
B. 川の背景	1. 森林 ② 畑・水田 3. 市街地
① 評価基礎点 $(A+B)/2 = 2.5$ 点 階級	

2. 水質を調べる

水温	22℃
a. 水の色	1. 無色 ② 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	1. 80cm以上 2. 60cm以上 ③ 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満 ③ 5.0mg/L以上
② 水質評価点 $(a+b+c+d+e)/5 = 2.0$ 点 階級	

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬
	f. 石の状態	1. 浮き石
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い 3. マット状
③ 川底評価点 $(f+g+h+i+j)/5 =$ 点 階級		

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	内野川 (水系 菊池川)		
調査地点名	内野		
調査団体名	山鹿市立平小城小学校		
代表者名	参加人数	5 人	
連絡先住所	〒		
	電話: - - ()		
調査年月日	平成29年7月19日	調査時間	10:30
調査日天候	曇	気温	28 °C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2 点 階級 III			

2. 水質を調べる

水温	22 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.8 点 階級 III			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬 平瀬		
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.0 点 階級 III			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくのと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		●			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ			●		
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)			○		
水多量不快な水環境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					○
	23. イトミミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	2	2	5	
	最も多い種の数(●)		1	1		
	得点の合計	2	3	6		1
底生動物による川の水環境評価の判定		III				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	浜戸川・小熊野川 (水系 水系 緑川)		
調査地点名	宇城市豊野町山崎		
調査団体名	豊野みどりの少年団		
代表者名	参加人数	15 人	
連絡先住所	〒		
	電話: - - ()		
調査年月日	平成29年9月9日	調査時間	午前9時
調査日天候	晴れ	気温	26 °C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.6	1.6
			1.8	1.8
			2.0	2.0
IV	多少不快な水環境	2.5	2.2	2.2
			2.4	2.4
V	不快な水環境	3.0	2.6	2.6
			2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5 点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	22 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.4 点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	1. 早瀬	2. 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	2. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.0 点 階級 III			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくとお後で便利です。

アメンボ
ハエ
ゲンゴロウ
オノヤンマ(成虫)

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快 適 な 水 環 境 (I)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類					
親 し め る 水 環 境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)		○			
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不 快 を 感 じ な い 水 環 境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ			●		
	17. ユスリカ類(白・緑)			○		
水 多 少 不 快 な 水 環 境 (IV)	18. 貝類				○	
	19. サホコカゲロウ				○	
	20. ミズムシ(等脚目)				○	
	21. ヒル類				○	
	不 快 な 水 環 境 (V)	22. サカマキガイ				
23. イトミミズ類						
24. セスジユスリカ(赤)						
25. ホシチョウバエ						
得 点 の 集 計		出現した種の数(○+●)	0	3	4	4
	最も多い種の数(●)			1		
	得点の合計	0	3	5	4	0
底生動物による 川の水環境評価の判定		III				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	隅田川 (水系)		
調査地点名	玉の橋		
調査団体名	佐伊津地区振興会環境部会		
代表者名	参加人数	22 人	
連絡先住所	〒		
	電話:	- - ()	
調査年月日	平成29年8月1日	調査時間	午前10時
調査日天候	晴	気温	33 °C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2 1.4 1.6	1.2 1.4 1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8 2.0 2.2	1.8 2.0 2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4 2.6	2.4 2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8 3.0	2.8 3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5 点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	31 °C		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	② 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	③ 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.6 点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	③ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	③ 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	③ みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	② 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	① 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	② 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.2 点 階級 III			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

川の観察は2年目になりますが、昨年同様に子供たちも大変喜んでいました。

自分たちが住んでいる川にどんな生き物がいるか? その生き物がきれいな川でしか住めないなど詳しく教えてもらい、よかったです。

学校では教えてもらえないことも学べて、小学校から、環境問題も考えられていい勉強になりました。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類					
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ			○		
	14. ヒラタドロムシ			●		
	15. コカゲロウ類					
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)					
水多量不快な水環境 (IV)	18. 貝類				○	
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
	不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ				
23. イトミミズ類						
24. セスジユスリカ(赤)						
25. ホシチョウバエ						
得点の集計		出現した種の数(○+●)	2	0	2	1
	最も多い種の数(●)			1		
	得点の合計	2	0	3	1	0
底生動物による川の水環境評価の判定		III				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	中津川 (水系)		
調査地点名	有明町大島子		
調査団体名	つわの花		
代表者名	参加人数	15 人	
連絡先住所	〒		
	電話: - - ()		
調査年月日	平成29年8月23日	調査時間	10時~12時
調査日天候	晴	気温	℃

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.6	1.6
			1.8	1.8
IV	多少不快な水環境	2.5	2.0	2.0
			2.2	2.2
V	不快な水環境	3.0	2.4	2.4
			2.6	2.6
			2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 $(A+B)/2 = 3$ 点 階級 V			

2. 水質を調べる

水温	℃		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	① 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	③ 5.0mg/L以上	
②水質評価点 $(a+b+c+d+e)/5 = 1.4$ 点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	③ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	③ 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	③ みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	② 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	② 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない 2. 多い 3. マット状		
③川底評価点 $(f+g+h+i+j)/5 = 2.0$ 点 階級 III			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくのと後で便利です。

暑い中、子どもたちもとても喜び、参加できた。

目立ったのは、藻がとてもあつく、多く茂っていたように思う。

石の裏ははじめは見つかったが、後では探すのに苦労した。

昨年が「アミ」があったので期待していたのか、少し残念がり、後半は水につかり遊ぶ子が出てきたのが残念だった。

水の様子の結果の説明にはとても興味を示していた。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快 適 な 水 環 境 (I)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類					
親 し め る 水 環 境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類					
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不 快 を 感 じ な い 水 環 境 (III)	13. カワニナ			○		
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類					
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)					
水 多 少 不 快 な 水 環 境 (IV)	18. 貝類				○	
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類				○	
不 快 な 水 環 境 (V)	22. サカマキガイ					○
	23. イトミミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	0	0	2	2
	最も多い種の数(●)					
	得点の合計	0	0	2	2	1
底生動物による川の水環境評価の判定		IV				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	中津川 (水系)		
調査地点名	赤崎小学校		
調査団体名	有明子供デイサービス		
代表者名	参加人数	21 人	
連絡先住所	〒		
	電話: - - ()		
調査年月日	平成29年8月10日	調査時間	午前10時
調査日天候	晴	気温	30.5 °C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.6	1.6
			1.8	1.8
IV	多少不快な水環境	2.5	2.0	2.0
			2.2	2.2
V	不快な水環境	3.0	2.4	2.4
			2.6	2.6
			2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	<input checked="" type="radio"/> 2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	<input checked="" type="radio"/> 2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 $(A+B)/2 = 2.0$ 点 階級 III			

2. 水質を調べる

水温	°C		
a. 水の色	<input checked="" type="radio"/> 1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	<input checked="" type="radio"/> 1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	<input checked="" type="radio"/> 2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	<input checked="" type="radio"/> 1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	<input checked="" type="radio"/> 3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 $(a+b+c+d+e)/5 = 1.6$ 点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	<input checked="" type="radio"/> 3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	<input checked="" type="radio"/> 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	<input checked="" type="radio"/> 2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	<input checked="" type="radio"/> 1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	<input checked="" type="radio"/> 1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 $(f+g+h+i+j)/5 = 2.0$ 点 階級 III			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

川の観察は2年目になりますが、昨年同様に子供たちも大変喜んでいました。

自分たちが住んでいる川にどんな生き物がいるか? その生き物がきれいな川でしか住めないなど詳しく教えてもらい、よかったです。

学校では教えてもらえないことも学べて、小学校から、環境問題も考えられていい勉強になりました。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	地下水(地域飲料水) (水系)		
調査地点名	大津町平川地区		
調査団体名	菊池管内環境活動協議会、大津北小学校(4年)		
代表者名	参加人数	9人	
連絡先住所			
調査年月日	平成29年10月3日	調査時間	14時
調査日天候	晴れ	気温	33℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 1.5 点 階級			

2. 水質を調べる

水温	18℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1 点 階級			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 点 階級			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名 <small>ちようさ かせん ぬい</small>	通潤用水 <small>(水系 水系)</small> <small>みどりかわ 緑川</small>		
調査地点名 <small>ちようさ ちてんぬい</small>	円形分水工		
調査団体名 <small>ちようさ だんたいぬい</small>	菊池管内環境活動協議会、大津北小学校(4年)		
代表者名 <small>だいひようしゃぬい</small>	参加人数	9人	
連絡先住所 <small>れんらく せんしよ</small>			
調査年月日	平成29年10月3日	調査時間	14時
調査日天候	晴れ	気温	33℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 <small>けいりゆういき</small>	2. 山間流域 <small>さんかんりゆういき</small>	3. 平地流域 <small>へいちりゆういき</small>
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 $(A+B)/2 = 1$ 点 階級			

2. 水質を調べる

水温	℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	2. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 $(a+b+c+d+e)/5 = 1$ 点 階級			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石 <small>ういきし</small>	3. 沈み石 <small>しずいし</small>	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥 <small>すなどろ</small>	3. 泥(腐敗) <small>どろ ふはい</small>
i. 付着藻類色	1. 茶緑色 <small>ちやりよく</small>	2. 緑色 <small>みどりいろ</small>	3. 白灰黒色 <small>しろはいくろしよく</small>
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 $(f+g+h+i+j)/5 =$ 点 階級			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	平川 (水系 菊池川)		
調査地点名	大津北小学校近くのリフレッシュ広場付近		
調査団体名	菊池管内環境活動協議会、大津北小学校(4年)		
代表者名	参加人数	9人	
連絡先住所			
調査年月日	平成29年10月3日	調査時間	14時
調査日天候	晴れ	気温	33℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2 1.4 1.6	1.2 1.4 1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8 2.0 2.2	1.8 2.0 2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4 2.6	2.4 2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8 3.0	2.8 3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)÷2= 2.5 点 階級			

2. 水質を調べる

水温	23℃		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e)÷5= 1.6 点 階級			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)÷5= 点 階級			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくのと後で便利です。

○平川は、普段水が流れていない川のようにです。今回は、数日前に降った雨による水を採取しました。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	矢護川 (水系 菊池川)		
調査地点名	矢護川公園		
調査団体名	菊池管内環境活動協議会、大津北小学校(4年)		
代表者名	参加人数	9 人	
連絡先住所			
調査年月日	平成29年10月3日	調査時間	14時
調査日天候	晴れ	気温	33 °C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2 点 階級			

2. 水質を調べる

水温	18 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1 点 階級			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 点 階級			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	日向川 (水系 合志川)		
調査地点名	菊池市泗水町永		
調査団体名	菊池市立泗水東小学校、菊池管内環境活動協議会		
代表者名	参加人数	47 人	
連絡先住所			
調査年月日	平成29年9月11日	調査時間	9時30分～11時
調査日天候	曇り	気温	27 °C

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B)/2 = 2.5 点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	22 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e)/5 = 1 点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	1. 早瀬	2. 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j)/5 = 1.8 点 階級 III			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。



年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

4. 底生動物を調べる

階級	No. しひょうせいぶつめい 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類					
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類					
	12. ブユ類・ガガンボ類		○			
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ			●		
	14. ヒラタドロムシ					
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)			○		
多少不快な水環境 (IV)	18. 貝類				○	
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類				○	
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	1	2	3	2
最も多い種の数(●)				1		
得点の合計		1	2	4	2	
底生動物による川の水環境評価の判定		III				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	砂川 (水系)		
調査地点名	砂川橋		
調査団体名	宇城市立小川小学校4年		
代表者名	参加人数	17 人	
連絡先住所	〒		
	電話: - - ()		
調査年月日	平成29年9月21日	調査時間	9:00~11:30
調査日天候	くもり	気温	24 °C

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.6	1.6
			1.8	1.8
			2.0	2.0
IV	多少不快な水環境	2.5	2.2	2.2
			2.4	2.4
V	不快な水環境	3.0	2.6	2.6
			2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 3 点 階級 V			

2. 水質を調べる

水温	22 °C		
a. 水の色	① 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	① 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	① 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	① 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	③ 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.4 点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	① 早瀬	② 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	③ 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	③ みかん
h. 堆積物の種類	① なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	② 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	① 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.0 点 階級 III			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくとも後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

No.31

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類	●				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類		○			
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ					
	15. コカゲロウ類					
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)					
水多量不快な水環境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類					
	不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ				
23. イトミミズ類						
24. セスジユスリカ(赤)						
25. ホシチョウバエ						
得点の集計		出現した種の数(○+●)	2	2	1	0
	最も多い種の数(●)	1				
	得点の合計	3	2	1	0	0
底生動物による川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	網田川 (水系)		
調査地点名	上網田851付近		
調査団体名	網田小学校		
代表者名	参加人数	17 人	
連絡先住所	〒		
	電話: - - ()		
調査年月日	平成29年7月19日	調査時間	10:30~11:45
調査日天候	雨	気温	℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.6	1.6
			1.8	1.8
			2.0	2.0
IV	多少不快な水環境	2.5	2.2	2.2
			2.4	2.4
V	不快な水環境	3.0	2.6	2.6
			2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 <input type="radio"/> 2. 山間流域 <input checked="" type="radio"/> 3. 平地流域 <input type="radio"/>
B. 川の背景	1. 森林 <input type="radio"/> 2. 畑・水田 <input checked="" type="radio"/> 3. 市街地 <input type="radio"/>
①評価基礎点 $(A+B)/2 = 2$ 点 階級 III	

2. 水質を調べる

水温	21.7 °C
a. 水の色	<input checked="" type="radio"/> 1. 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	<input checked="" type="radio"/> 1. 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	<input checked="" type="radio"/> 1. 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満
d. pH	<input checked="" type="radio"/> 1. 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満 <input type="radio"/> 3. 5.0mg/L以上
②水質評価点 $(a+b+c+d+e)/5 = 1.4$ 点 階級 II	

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬 <input type="radio"/> ひらせ 平瀬 <input type="radio"/>
f. 石の状態	1. 浮き石 <input type="radio"/> 3. 沈み石 <input checked="" type="radio"/>
g. 石の大きさ	1. すいか 2. メロン <input type="radio"/> 3. みかん <input checked="" type="radio"/>
h. 堆積物の種類	1. なし <input type="radio"/> 2. 砂泥 <input checked="" type="radio"/> 3. 泥(腐敗) <input type="radio"/>
i. 付着藻類色	1. 茶緑色 <input type="radio"/> 2. 緑色 <input checked="" type="radio"/> 3. 白灰黒色 <input type="radio"/>
j. 付着藻類量	1. 少ない <input type="radio"/> 2. 多い <input checked="" type="radio"/> 3. マット状 <input type="radio"/>
③川底評価点 $(f+g+h+i+j)/5 = 2.4$ 点 階級 IV	

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくとも後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級					
		I	II	III	IV	V	
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○					
	2. ナガレトビケラ類						
	3. ヒゲナガカワトビケラ						
	4. チラカゲロウ	○					
	5. 携巢性トビケラ類						
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○					
	7. ヒラタカゲロウ類	○					
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)		○				
	9. ヘビトンボ類						
	10. マダラカゲロウ類						
	11. タニガワカゲロウ類		●				
	12. ブユ類・ガガンボ類						
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ						
	14. ヒラタドロムシ						
	15. コカゲロウ類			○			
	16. コガタシマトビケラ						
	17. ユスリカ類(白・緑)						
水多量不快な水環境 (IV)	18. 貝類						
	19. サホコカゲロウ						
	20. ミズムシ(等脚目)						
	21. ヒル類				○		
	22. サカマキガイ						
不快な水環境 (V)	23. イトミミズ類						
	24. セスジユスリカ(赤)						
	25. ホシチョウバエ						
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	4	2	1	1	0
	得点の集計	最も多い種の数(●)		1			
得点の集計	得点の合計	4	3	1	1	0	
底生動物による川の水環境評価の判定		I					

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	球磨川 (水系 球磨川)		
調査地点名	中川原公園		
調査団体名	人吉東小学校 5年生		
代表者名	人吉東小学校長	参加人数	68人
連絡先住所			
調査年月日	平成29年5月26日	調査時間	9:10
調査日天候	快晴	気温	22.0 °C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.6	1.6
			1.8	1.8
			2.0	2.0
IV	多少不快な水環境	2.5	2.2	2.2
			2.4	2.4
V	不快な水環境	3.0	2.6	2.6
			2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2点 階級 III			

2. 水質を調べる

水温	19 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.4点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.6点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくのと後で便利です。

川の水環境調査記録用紙(その2)

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級					
		I	II	III	IV	V	
快 適 な 水 環 境 (I)	1. カワゲラ類	○					
	2. ナガレトビケラ類	●					
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○					
	4. チラカゲロウ	○					
	5. 携巢性トビケラ類	○					
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ						
	7. ヒラタカゲロウ類	●					
親 し め る 水 環 境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)		○				
	9. ヘビトンボ類		○				
	10. マダラカゲロウ類		○				
	11. タニガワカゲロウ類		○				
	12. ブユ類・ガガンボ類		○				
不 快 を 感 じ な い 水 環 境 (III)	13. カワニナ			○			
	14. ヒラタドロムシ			○			
	15. コカゲロウ類			○			
	16. コガタシマトビケラ			○			
	17. ユスリカ類(白・緑)						
水 多 少 不 快 な 水 環 境 (IV)	18. 貝類				○		
	19. サホコカゲロウ				○		
	20. ミズムシ(等脚目)						
	21. ヒル類				○		
	22. サカマキ貝						
不 快 な 水 環 境 (V)	23. イトミズ類					○	
	24. セスジユスリカ(赤)					○	
	25. ホシチョウバエ					○	
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	6	5	4	3	3
	得点の集計	最も多い種の数(●)	2	0	0	0	0
得点の集計	得点の合計	8	5	4	3	3	
底生動物による川の水環境評価の判定		I					

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	胸川 (水系 球磨川)		
調査地点名	胸川むつみ橋上流		
調査団体名	東間小学校 5年生		
代表者名	人吉東小学校長	参加人数	53人
連絡先住所			
調査年月日	平成29年6月1日	調査時間	9:55
調査日天候	曇り	気温	23 °C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 (2. 山間流域 3. 平地流域)
B. 川の背景	1. 森林 2. 畑・水田 (3. 市街地)
①評価基礎点 $(A+B) \div 2 = 2.5$ 点 階級 IV	

2. 水質を調べる

水温	18 °C
a. 水の色	(1) 無色 2. 緑茶色 3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	(1) 無臭 3. 臭いあり
c. 透視度	(1) 80cm以上 2. 60cm以上 3. 60cm未満
d. pH	(1) 6.5~8.5 3. 6.4以下 3. 8.6以上
e. COD	(1) 5.0mg/L未満 3. 5.0mg/L以上
②水質評価点 $(a+b+c+d+e) \div 5 = 1$ 点 階級 I	

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬 (ひらき 平瀬)
f. 石の状態	(1) 浮き石 3. 沈み石
g. 石の大きさ	1. すいか (2) メロン 3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし (2) 砂泥 3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	(1) 茶緑色 2. 緑色 3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	(1) 少ない 2. 多い 3. マット状
③川底評価点 $(f+g+h+i+j) \div 5 = 1.4$ 点 階級 II	

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくとも後で便利です。

川の水環境調査記録用紙(その2)

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類	○				
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類	●				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)		○			
	9. ヘビトンボ類		○			
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類		○			
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ			○		
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)			○		
水多量不快な水環境 (IV)	18. 貝類				○	
	19. サホコカゲロウ				○	
	20. ミズムシ(等脚目)				○	
	21. ヒル類				○	
	不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ				
23. イトミミズ類						○
24. セスジユスリカ(赤)						○
25. ホシチョウバエ						○
得点の集計		出現した種の数(○+●)	7	5	5	4
	最も多い種の数(●)	1	0	0	0	0
	得点の合計	8	5	5	4	3
底生動物による川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	万江川 (水系 球磨川)		
調査地点名	新万江川橋下流		
調査団体名	中原小学校 5年生		
代表者名	中原小学校長	参加人数	48人
連絡先住所			
調査年月日	平成29年7月18日	調査時間	13:55
調査日天候	曇り	気温	30℃

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5 点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	22 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	1. 早瀬	2. 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.6 点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	鳩胸川 (水系 球磨川)		
調査地点名	上麓橋下		
調査団体名	大畑小学校		
代表者名	大畑小学校長	参加人数	34人
連絡先住所	〒 -		
	電話:		
調査年月日	平成29年9月11日	調査時間	9:17
調査日天候	くもり	気温	27 °C

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2点 階級 III			

2. 水質を調べる

水温	20 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.2点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

川の水環境調査記録用紙(その2)

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類	○				
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4. チラカゲロウ	○				
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類	●				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類		○			
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類					
	12. ブユ類・ガガンボ類		○			
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ			○		
	14. ヒラタドロムシ					
	15. コカゲロウ類					
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)					
水多量不快な水環境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類				○	
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	7	2	2	1
	最も多い種の数(●)	1	0	0	0	0
	得点の合計	8	2	2	1	0
底生動物による川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	永野川 (水系 球磨川)		
調査地点名	清水川橋下		
調査団体名	西瀬小学校 5年生		
代表者名	西瀬小学校長	参加人数	37人
連絡先住所	〒 -		
	電話:		
調査年月日	平成29年9月14日	調査時間	9:55
調査日天候	くもり	気温	29 °C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2点 階級 III			

2. 水質を調べる

水温	22 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.2点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

川の水環境調査記録用紙(その2)

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級					
		I	II	III	IV	V	
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	○					
	2. ナガレトビケラ類	○					
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○					
	4. チラカゲロウ	○					
	5. 携巢性トビケラ類						
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○					
	7. ヒラタカゲロウ類	●					
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)						
	9. ヘビトンボ類						
	10. マダラカゲロウ類		○				
	11. タニガワカゲロウ類		○				
	12. ブユ類・ガガンボ類		○				
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ			○			
	14. ヒラタドロムシ			○			
	15. コカゲロウ類			○			
	16. コガタシマトビケラ						
	17. ユスリカ類(白・緑)						
水多量不快な水環境 (IV)	18. 貝類				○		
	19. サホコカゲロウ						
	20. ミズムシ(等脚目)						
	21. ヒル類				○		
	22. サカマキ貝						
不快な水環境 (V)	23. イトミズ類						
	24. セスジユスリカ(赤)						
	25. ホシチョウバエ						
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	6	3	3	2	0
	得点の集計	最も多い種の数(●)	1	0	0	0	0
得点の合計		7	3	3	2	0	
底生動物による川の水環境評価の判定		I					

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	山田川 (水系 球磨川)		
調査地点名	鶴亀橋下		
調査団体名	人吉西小学校 4年生		
代表者名	人吉西小学校長	参加人数	68人
連絡先住所	〒 -		
	電話:		
調査年月日	平成29年9月25日	調査時間	14:15
調査日天候	くもり	気温	29 °C

階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.6	1.6
			1.8	1.8
			2.0	2.0
IV	多少不快な水環境	2.5	2.2	2.2
			2.4	2.4
V	不快な水環境	3.0	2.6	2.6
			2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 3 点 階級 V			

2. 水質を調べる

水温	21 °C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.4点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 1.2 点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

川の水環境調査記録用紙(その2)

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快 適 な 水 環 境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類	○				
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類	●				
親 し め る 水 環 境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不 快 を 感 じ な い 水 環 境 (III)	13. カワニナ			○		
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)					
水 多 少 不 快 な 水 環 境 (IV)	18. 貝類				○	
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類				○	
	21. ヒル類				○	
不 快 な 水 環 境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	25. ホシチョウバエ					
得 点 の 集 計	出現した種の数(○+●)	6	2	4	2	0
	最も多い種の数(●)	1	0	0	0	0
	得点の合計	7	2	4	2	0
底生動物による 川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	坂瀬川 (水系)		
調査地点名	坂瀬川小付近		
調査団体名	坂瀬川小学校5年生		
代表者名	参加人数	12 人	
連絡先住所	〒		
	電話: - - ()		
調査年月日	平成29年10月6日	調査時間	午前11時
調査日天候	くもり	気温	25 °C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.6	1.6
			1.8	1.8
			2.0	2.0
IV	多少不快な水環境	2.5	2.2	2.2
			1.8	1.8
V	不快な水環境	3.0	2.4	2.4
			2.6	2.6
			2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域 <input type="radio"/> 2. 山間流域 <input checked="" type="radio"/> 3. 平地流域 <input type="radio"/>
B. 川の背景	1. 森林 <input type="radio"/> 2. 畑・水田 <input checked="" type="radio"/> 3. 市街地 <input type="radio"/>
①評価基礎点 $(A+B)/2 = 2$ 点 階級 III	

2. 水質を調べる

水温	°C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色 <input type="radio"/>	3. 白・灰・黒色 <input type="radio"/>
b. 水の臭い	① 無臭 <input checked="" type="radio"/>		3. 臭いあり <input type="radio"/>
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上 <input checked="" type="radio"/>	3. 60cm未満 <input type="radio"/>
d. pH	① 6.5~8.5 <input checked="" type="radio"/>	3. 6.4以下 <input type="radio"/>	3. 8.6以上 <input type="radio"/>
e. COD	1. 5.0mg/L未満 <input type="radio"/>	3. 5.0mg/L以上 <input checked="" type="radio"/>	
②水質評価点 $(a+b+c+d+e)/5 = 2.2$ 点 階級 III			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬 <input type="radio"/> ひらせ 平瀬 <input type="radio"/>
f. 石の状態	① 浮き石 <input checked="" type="radio"/> 3. 沈み石 <input type="radio"/>
g. 石の大きさ	1. すいか <input type="radio"/> 2. メロン <input type="radio"/> 3. みかん <input checked="" type="radio"/>
h. 堆積物の種類	1. なし <input type="radio"/> ② 砂泥 <input checked="" type="radio"/> 3. 泥(腐敗) <input type="radio"/>
i. 付着藻類色	1. 茶緑色 <input type="radio"/> ② 緑色 <input checked="" type="radio"/> 3. 白灰黒色 <input type="radio"/>
j. 付着藻類量	1. 少ない <input type="radio"/> ② 多い <input checked="" type="radio"/> 3. マット状 <input type="radio"/>
③川底評価点 $(f+g+h+i+j)/5 = 2.0$ 点 階級 III	

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくとも後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類	●				
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ					
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類		○			
	11. タニガワカゲロウ類		○			
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ			○		
	14. ヒラタドロムシ		●			
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)					
水多量不快な水環境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ				○	
	20. ミズムシ(等脚目)					
	21. ヒル類				●	
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミミズ類					○
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	3	2	4	2
	最も多い種の数(●)	1	0	1	1	0
	得点の合計	4	2	5	3	1
底生動物による川の水環境評価の判定		III				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	志岐川 (水系)		
調査地点名	志岐川下流		
調査団体名	志岐小学校5年生		
代表者名	参加人数	28 人	
連絡先住所	〒		
	電話: - - ()		
調査年月日	平成29年10月5日	調査時間	午前10時
調査日天候	くもり	気温	25 °C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 (A+B) / 2 = 2.5 点 階級 IV			

2. 水質を調べる

水温	°C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 (a+b+c+d+e) / 5 = 1.6 点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 (f+g+h+i+j) / 5 = 2.2 点 階級 III			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級					
		I	II	III	IV	V	
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類						
	2. ナガレトビケラ類						
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○					
	4. チラカゲロウ	○					
	5. 携巢性トビケラ類						
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	●					
	7. ヒラタカゲロウ類	○					
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)						
	9. ヘビトンボ類						
	10. マダラカゲロウ類						
	11. タニガワカゲロウ類		○				
	12. ブユ類・ガガンボ類		○				
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ			●			
	14. ヒラタドロムシ			○			
	15. コカゲロウ類						
	16. コガタシマトビケラ			○			
	17. ユスリカ類(白・緑)						
水環境 (IV) 多少不快	18. 貝類				○		
	19. サホコカゲロウ						
	20. ミズムシ(等脚目)						
	21. ヒル類				○		
	22. サカマキ貝						
不快な水環境 (V)	23. イトミズ類					○	
	24. セスジユスリカ(赤)						
	25. ホシチョウバエ						
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	4	2	3	2	2
	得点の集計	最も多い種の数(●)	1	0	1	0	0
得点の集計	得点の合計	5	2	4	2	2	
底生動物による川の水環境評価の判定		I					

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	都呂々川 (水系)		
調査地点名	都呂々川下流		
調査団体名	都呂々小学校5年生		
代表者名	参加人数	10 人	
連絡先住所	〒		
	電話: - - ()		
調査年月日	平成29年10月5日	調査時間	午後2時
調査日天候	くもり	気温	25 °C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
			1.6	1.6
III	不快を感じない水環境	2.0	1.8	1.8
			2.0	2.0
			2.2	2.2
IV	多少不快な水環境	2.5	2.4	2.4
			2.6	2.6
V	不快な水環境	3.0	2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 $(A+B) \div 2 = 1.5$ 点 階級 II			

2. 水質を調べる

水温	°C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 $(a+b+c+d+e) \div 5 = 1.0$ 点 階級 I			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	はやせ 早瀬	ひらせ 平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 $(f+g+h+i+j) \div 5 = 1.4$ 点 階級 II			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくことで便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快適な水環境 (I)	1. カワゲラ類					
	2. ナガレトビケラ類					
	3. ヒゲナガカワトビケラ					
	4. チラカゲロウ					
	5. 携巢性トビケラ類	●				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類	○				
親しめる水環境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類					
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不快を感じない水環境 (III)	13. カワニナ					
	14. ヒラタドロムシ			●		
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ					
	17. ユスリカ類(白・緑)					
水多量不快な水環境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ					
	20. ミズムシ(等脚目)				○	
	21. ヒル類					
不快な水環境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	3	0	2	1
	最も多い種の数(●)	1	0	1	0	0
	得点の合計	4	0	3	1	0
底生動物による川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。

川の水環境調査記録用紙(その1)

調査河川名	中山川 (水系)		
調査地点名	中山川下流		
調査団体名	富岡小学校5年生		
代表者名	参加人数	12 人	
連絡先住所	〒		
	電話: - - ()		
調査年月日	平成29年10月6日	調査時間	午後2時
調査日天候	くもり	気温	26 °C

水質と川底評価点からの水環境評価				
階級	水環境の快適さ	①評価の基礎点	評価点	
			②水質	③川底
I	快適な水環境	1.0	1.0	1.0
II	親しめる水環境	1.5	1.2	1.2
			1.4	1.4
III	不快を感じない水環境	2.0	1.6	1.6
			1.8	1.8
			2.0	2.0
IV	多少不快な水環境	2.5	2.2	2.2
			2.4	2.4
V	不快な水環境	3.0	2.6	2.6
			2.8	2.8
			3.0	3.0

1. 調査地点の様子を調べる

A. 川の地形	1. 渓流域	2. 山間流域	3. 平地流域
B. 川の背景	1. 森林	2. 畑・水田	3. 市街地
①評価基礎点 $(A+B)/2 = 2.0$ 点 階級 III			

2. 水質を調べる

水温	°C		
a. 水の色	1. 無色	2. 緑茶色	3. 白・灰・黒色
b. 水の臭い	1. 無臭	3. 臭いあり	
c. 透視度	1. 80cm以上	2. 60cm以上	3. 60cm未満
d. pH	1. 6.5~8.5	3. 6.4以下	3. 8.6以上
e. COD	1. 5.0mg/L未満	3. 5.0mg/L以上	
②水質評価点 $(a+b+c+d+e)/5 = 1.4$ 点 階級 II			

3. 川底を調べる

(底生動物を調べる場所で調査する)

調査場所	早瀬	平瀬	
f. 石の状態	1. 浮き石	3. 沈み石	
g. 石の大きさ	1. すいか	2. メロン	3. みかん
h. 堆積物の種類	1. なし	2. 砂泥	3. 泥(腐敗)
i. 付着藻類色	1. 茶緑色	2. 緑色	3. 白灰黒色
j. 付着藻類量	1. 少ない	2. 多い	3. マット状
③川底評価点 $(f+g+h+i+j)/5 = 2.0$ 点 階級 III			

メモ: 河川の図、目に見た感じの川のきれいさ、きたなさ、魚や鳥がいたなど気づいたことがあったら書きとめておくと後で便利です。

年 組 名前

川の水環境調査記録用紙(その2)

4. 底生動物を調べる

階級	No. 指標生物名	水質環境評価階級				
		I	II	III	IV	V
快 適 な 水 環 境 (I)	1. カワゲラ類	○				
	2. ナガレトビケラ類	○				
	3. ヒゲナガカワトビケラ	○				
	4. チラカゲロウ	●				
	5. 携巢性トビケラ類	○				
	6. ニッポンヨコエビ・サワガニ	○				
	7. ヒラタカゲロウ類					
親 し め る 水 環 境 (II)	8. ウズムシ類(プラナリア)					
	9. ヘビトンボ類					
	10. マダラカゲロウ類					
	11. タニガワカゲロウ類					
	12. ブユ類・ガガンボ類					
不 快 を 感 じ な い 水 環 境 (III)	13. カワニナ			○		
	14. ヒラタドロムシ			○		
	15. コカゲロウ類			○		
	16. コガタシマトビケラ			○		
	17. ユスリカ類(白・緑)					
水 多 少 不 快 な 水 環 境 (IV)	18. 貝類					
	19. サホコカゲロウ				○	
	20. ミズムシ(等脚目)				○	
	21. ヒル類				○	
不 快 な 水 環 境 (V)	22. サカマキガイ					
	23. イトミミズ類					
	24. セスジユスリカ(赤)					
	25. ホシチョウバエ					
	得点の集計	出現した種の数(○+●)	6	0	4	3
最も多い種の数(●)	1	0	0	0	0	
得点の合計		7	0	4	3	0
底生動物による川の水環境評価の判定		I				

網かけ部分に、その地点で採取された指標生物には○印を、最も個体数の多い種類には●印を記入します。